

「都市間交流事業」について

【発表の要旨】

7月から8月にかけて行われる都市間交流事業について報告します。

【発表の内容】

7月から8月にかけて、平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市及び七戸町児童交流」及び武蔵野市・家族ふれあい自然体験 in 遠野、大府市小学生都市間交流事業、ふるさと学校体験留学事業の4つの都市間交流事業を行います。

1 平成22年度平成・南部藩寺子屋交流事業「八戸市及び七戸町児童交流」について

(1) 目的

根城南部氏の縁でつながる3市町の児童が、日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。

(2) 内容

遠野市児童26名、八戸市児童45名、七戸町児童16名が受入交流、派遣交流を通して、それぞれの市町で根城南部氏のつながり、歴史、文化等を学ぶ。

(3) 日程

- ① 八戸市、七戸町からの受入交流 平成22年7月26日（月）～28日（水）
- ② 遠野市からの派遣交流 平成22年8月3日（火）～5日（木）

2 平成22年度平成・南部藩子どもサミットについて

(1) 目的

南部氏の縁によって結ばれる地域の子どもの交流を深めることを目的とし、当該自治体の特有の文化にふれながら体験学習を行う。

また、この事業は、平成・南部藩の主要事業の地域づくり報告会（首長）、企画会議（担当課長）、子どもサミット（児童交流事業）の3事業を毎年順に開催する事業のうちの一環とし、今年度は青森県三戸町・南部町が開催地となる。

(2) テーマ 「南部の縁を感じながら交流し、南部藩の歴史にふれよう！」

(3) 主催 平成・南部藩

(4) 主管 平成・南部藩事務局（遠野市産業振興部観光交流課）、三戸町、南部町

(5) 参加者 平成・南部藩構成市町村の小学校5、6年生34名 引率18名

〔山梨県南部町 山梨県身延町 岩手県盛岡市 岩手県二戸市 岩手県遠野市
青森県八戸市 青森県七戸町 青森県三戸町 青森県南部町〕

(6) 日程 平成22年7月29日（木）～30日（金） 1泊2日

※ 裏面につづきます

3 平成 22 年度「武蔵野市・家族ふれあい自然体験 in 遠野」の開催について

(1) 目的

- ① ふるさとがない都会の家族に「ふるさと体験」を提供することにより、友好都市・武蔵野市を中心に、都市と農村の交流を促進し、交流人口の拡大を図る。
- ② 家族のふれあい、自然とのふれあい、地元農家（地域）とのふれあい、参加家族同士のふれあいを念頭に、遠野ツーリズムの実践として、様々な自然体験メニューを開発するとともに、「遠野民泊協会」や「で・くらす遠野」と連携しながら、遠野ファンの獲得を図る。

(2) 主催 武蔵野市・遠野市(武蔵野市家族ふれあい自然体験イン遠野実行委員会)

(3) 参加者 武蔵野市 15 家族 50 名 (7 月 12 日現在)

(4) 日程 平成 22 年 8 月 5 日 (木) ～ 8 日 (日) 3 泊 4 日 (内 民泊 2 泊)

4 大府市小学生都市間交流事業

(1) 目的

災害協力都市として提携した大府市の小学生を迎え入れ、市内の小学生との交流や遠野市の歴史や文化を学び、又様々な体験を通じて今後の学習に生かしてもらうとともに、遠野市について知る機会を提供する。

(2) 内容

遠野小学校との児童交流や馬の里での乗馬体験、その他各種体験活動等

(3) 参加者

大府市の小学生 20 名、引率者 4 名 **合計 24 名**

(4) 日程

平成 22 年 8 月 19 日 (木) ～ 22 日 (日) 3 泊 4 日間

5 平成 22 年度ふるさと学校体験留学事業

(1) 目的

都市と農村の児童の交流を推進することにより、児童の社会性を養うとともにさまざまな生活体験を通して豊かな人間性を培うことを目的とする。

(2) 内容

今年度で 7 年目を迎える事業で、武蔵野市立小学校の 5、6 年生児童が遠野市内に民泊しながら、地域の小学校に体験留学を行う。受入校は市内 5 校。

(3) 参加者

武蔵野市立小学校 5、6 年生 20 名

(4) 受入校

遠野北小、附馬牛小、土淵小、青笹小、上郷小

(5) 日程

8 月 24 日 (火) ～ 28 日 (土)

担当	観光交流課交流推進係(松本) 電話 0198-62-2111(内線 136)
----	-------------------------------------------